
第二輪一花卉 村

曇天

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

第二輪一花弁 村

【Nコード】

N9510E

【作者名】

曇天

【あらすじ】

なんか又言葉が動き出します。ソレを皆で追いかけます！…ドツタンボタンやってる第二輪一花弁です！！！！

第二輪一花弁村

乍兎杔（ながら とび以下な）

「というわけでやってきました山の村 星乃です」

突然言い出したのが編み笠を深くかぶった長身で酒瓶を持った男
乍兎杔。（説明長いわあ）

平佐輪仁矢野（おざわ にやの以下に）

「いやいやいや。飛びすぎだから話ぶっ飛んでるから」

センター分けで背にライフルを担いで
激しくつつ込んだのが平佐輪仁矢野。

戸尾真笛（とおま てき以下て）

「ほゝ此处が噂の星乃かあ。

思っていたより田舎じゃのお」

前髪を上げて横髪はかわいらしい髪留めでとめていて

腰に弓矢を提げた見た目と口調のギャップが激しい男が戸尾真笛。

（なげえ）

伊都式華我弥（いとしき かがび以下か）

「カッカッカスゲー!!」

手首に黒いベルトのようなものを巻きつけて
喉を鳴らして笑う髪の長い男が伊都式華我弥。

母恵十新（おもえ とおしん以下と）

「埃っぽい……。」

前髪が長くて背に長い槍を2本背負って呟いた男が
母恵十新。

花弁夜桜（かべん やざくら以下や）

「……右に同じく……。」

怒った様にいった髪の色が白に近い16歳ほどの
腰にポーチを提げた少年が花弁夜桜。

星山猯蘭（ほしやま ばくらん以下ば）

「わわっ!!ニワトリ!!」

驚いたように騒ぐ少し天然パーマがかかっていて
腰に手榴弾をいくつも提げている少女が星山猯蘭。

な「よし説明しよう。」

昨日の昼ターゲットを虐殺すべく『人形』を使いました」

に・ば「うんうん」

な「ターゲットは『人形』によって無事虐殺されました。しかし！
！！」

に・ば「しかし？」

な「なんと『人形』までもがターゲットもろとも朽ちてしまったのです！！」

に・ば「はいはい」

な「いつもなら代わりの『人形』を使い、朽ちた方を捨てるのですが！！」

に・ば「が？」

な「なんと！！その『人形』がラストだったのです！！」

に・ば「はいはい」

な「ていうことで手っ取り早く仮の『人形』を集めるため
この星乃にいるのです」

に・ば「ふうん」

な「てかさ。こんな説明オレじゃなくて
ことがやれよ」

乍が村のほうから視線をはずさない
日本刀を手にしている獅麗言葉（しれい）ことば以下こ（）にいった。

こ「……。」

しかし獅麗は聞く耳を持ちもしなかった。

な「ったく・・・。組長さんは相変わらず無口ですなあ」

呆れたように言う乍に

て「まあまあ。いつものことじゃろっ」

と都尾真がのんきな声で言う。

な「まあな・・・。

って！！勝手に村にはいんな！！

オイお前ら！！中にはいんぞ！！」

にぎやかな金木犀組みは

そのまま獅麗を追いかけるように村の中に入っていった。

[illegible]

~~~~~

な「ハア……ハア……ハア……」

1) 1. 1. 1. 1.

な「あのなこと・・・」

こ「・・・。」

な「この組組んで何年もたつが、いい加減団体行動しようぜ・・・？」

こ「・・・。」

な「お前一人じゃねえんだよ。見ろ後ろを」

後ろを見ると息を切らした皆の衆。

な「お前一人がテケテケ歩き回ると

俺たちもその後についていかなきゃ行けねえんだよ！！」

こ「・・・。」

な「狭い路地！！屋根の上！！お前は何がしたいんだよ！！！」

こ「・・・。」

な「だー!!もういい!!お前には笛についてもらっ!!いいな!!」

こ「・・・。」

な「決定!!!オイ笛・・・って!!」

オイコラB型四人組!!!!どこ行く気だ!!」

て「アウチ」(B型)

か「あー惜しい」(B型)

と「・・・あと・・・少し・・・だった・・・。」(B型)

や「・・・チッ」(B型)

な「団体行動を重視しろ!!気ままなヤツらめ!!」

て・か・と・や「B型だし」

な「うるせえ!!」

に「まあまあ。落ち着けて血糖値上がるぞ」

ば「じゃあこうしましょう。みんなで手分けして

『人形』にふさわしい『人材』を持つてくる。

そして最も役立つ『人材』を持つてきた人が皆から物を貰うってことで」

に「いいなそれ」

な「よし。決定な。

てことで今から30分後此処に集合な」

て「でわ。散!!」

第二輪  
村  
終

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9510e/>

---

第二輪一花卉 村

2010年10月15日11時03分発行